

10月の衛研検査情報

～トピックス～

平成28年度 医動物・種類同定検査のまとめ（7～9月）

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

（本編の記事には、セアカゴケグモとハイイロゴケグモについてのコラムも掲載しています。）

主な結果 平成28年7月から9月の種類同定検査件数は、4件でした。内訳は昆虫類3件（コウチュウ目2件、ハチ目1件）、その他の節足動物1件（クモ目1件）でした。

残留農薬検査（その2）

微量汚染物担当では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成25年度に検査項目の見直しを行い、農産物ごとに検査項目を設定しました。

今回は、平成28年7月及び8月に食品専門監視班が搬入した農産物等の検査結果を報告します。

主な結果 7月に搬入されたトマト（4検体）、こまつな及びなす（各3検体）、キャベツ、きゅうり、じゃがいも、とうもろこし及びにんじん（各1検体）、8月に搬入されたこまつな（5検体）、なす（2検体）、にがうり、日本なし及びぶどう（各1検体）の計25検体について検査を行いました。その結果、トマト、なす、日本なし、ぶどう各1検体及びこまつな3検体から計7種類9項目の農薬が検出されました。しかし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成28年9月は、大麻（マリファナ）、クロストリジウム-ディフィシル感染症、B群レンサ球菌（GBS）感染症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は92,076件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。